

12/10 菊池北中卒業生が 菊池公園に桜を寄贈

昭和44年に菊池北中学校を卒業した皆さんから、還暦を迎える記念として菊池公園に桜2本の寄贈がありました。

これは、卒業生の皆さんが「桜の木と一緒に菊池市の発展、未来を担う子どもたちの成長を見守りたい。今生きていることに感謝し、これからも健康で楽しく過ごせることを祈念」して植樹されたものです。寄贈ありがとうございました。



桜を寄贈した菊池北中卒業生の皆さん

12/3 チューリップの植え付けを行いました

菊池美容組合菊池支部（緒方和代支部長）が、夫婦桜花壇にチューリップの植え付けを行いました。同組合は、毎年12月にボランティアでチューリップの植え付けを行っており今年で7回目。植えられたチューリップは、春になると色とりどりの花を咲かせ、本市を訪れる人々の目を楽しませてくれます。

例年3月中旬から4月にかけてが見ごろとなっています。早朝からの作業お疲れさまでした。



チューリップの植え付け作業を行う組合員の皆さん

11/28 無理のない運動で 健康長生き!

市と市老人クラブ連合会（菊川忠一会長）共催の健康づくり講演会が、泗水公民館で開催され多くの市民が参加しました。

講師の中村誠三先生（有ワイエス健康づくりサポートセンター）は、「運動の薬、運動の毒」と題し、「少し早足で歩くと十分な酸素を摂取することができます。それを最低10分続けることで、脳まで酸素を送ります」と講話。参加者は、無理のない運動での「健康長生きの秘訣」を学びました。



講演する中村先生

11/14 宝くじ助成事業で 区用備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、雪野区にコミュニティ活動備品（ガーデンチェア、ガーデンテーブル、アルメッシュフェンス）が整備されました。

この事業は、社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後、雪野区のますますの活性化が期待されます。（広報きくち1月号22ページに掲載した内容に誤りがありました。お詫びして訂正します）



コミュニティ活動備品として購入した用具

12/15 第5回 菊池ふるさとかるた大会

菊池ふるさとかるた大会が、市内児童を対象に菊池市総合体育館メインアリーナで開催されました。市内小学校12校より39チーム117人の選手が出場。低学年と高学年に分かれて、熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。

高学年の部 優勝 迫水小B **準優勝** 戸崎小B
第3位 旭志小A
低学年の部 優勝 泗水小B **準優勝** 迫水小A
第3位 河原小B



真剣な表情でかるたに挑む児童たち

12/10 人権週間街頭啓発活動

山鹿人権擁護委員協議会（岩崎義郎会長）の委員5人が、12月4日から10日までの人権週間に併せた取り組みとして、市内のスーパーマーケットで買い物客に人権啓発グッズを配布しました。委員は「人権を大切にしましょう」「困ったことがあったら何でも人権擁護委員に相談してください」と呼びかけました。また、高野瀬区の國生文弥さんが飛び入りでオカリナを演奏する一幕もあり、和やかな中、啓発活動を行いました。



店頭で人権啓発グッズを配布する委員の皆さん（左）オカリナを演奏する國生文弥さん（右）

12/2 菊之池小学校剣道部 低学年の部で優勝!

第37回春日・五福招待剣道大会は、熊本市総合体育館で開催されました。歴史ある本大会には高学年団体59チーム、低学年団体43チームが参加。本市から出場した菊之池小学校剣道部が、低学年の部で優勝しました。

優勝した選手は次のとおりです。（敬称略）
先鋒 松永康佑（2年）
中堅 梅田悠太郎（3年）
大将 北村壮志（3年）



優勝した菊之池小の児童たち。左から北村くん、梅田くん、松永くん

11/30 大きく育てね ヤマメの稚魚を放流

菊池川漁業協同組合（富田正剛組合長）が、市内の菊池川や迫間川など4河川でヤマメの稚魚の放流を行いました。この放流は、同組合が九州産廃（株）との協力により、水環境の保全と魚種の保護などを目的として行っているものです。

今回は水源小学校の6年生8人が参加。児童たちは、「大きく元気に育ちますように」との願いを込めながら、ヤマメの稚魚約400kg（約1万匹）を放流しました。



菊池川上流でヤマメの稚魚を放流

12/20 菊池女子高生と高齢者
「笑顔の交流会」

菊池女子高（荒木元子校長）の生徒と地元の高齢者による交流会が同校で開かれました。この交流会は、若者と高齢者がふれあい相互理解を深めることを目的として開かれたものです。

生徒を代表して福祉科2年の矢野美麗さんが、「短い時間ですが楽しんでください」とあいさつ。歌、踊りやゲームで楽しんだ後、家庭科3年生が料理した大福餅やパウンドケーキのおみやげなどが振る舞われ、最後まで笑顔の絶えない交流会となりました。



高齢者の皆さんに「千本槍」の演舞を披露する菊池女子高の生徒たち

12/20 “めでたやの一”
稗方で「嫁とり祭り」

この祭りは、架空の花嫁花婿がネコボク（わら製のござ）で嫁とり儀式を行うことにより五穀豊穡や縁結び、安産などを祈願するユーモラスな祭りです。今回の花婿役の、桑原嘉博さんが座元を務め、既婚女性が務める花嫁役は小川加代子さん。稗方菅原神社での神事後、桑原さん宅に舞台を移し夫婦の杯を交わしました。最後に「めでたやの一」と掛け声があると、神官が「本日の結婚式はネコボクの上まで」と締めくくり、来場者の笑いを誘いました。



ネコボクの上で杯を交わす花嫁花婿

12/27 黒田章さんが県身体障害者福祉団体連合会表彰

黒田章さん（菊池市身体障害者福祉協議会会長）が、熊本県身体障害者福祉団体連合会表彰で福祉団体功労者表彰を受賞しました。これは、障がい者福祉事業や障がい者団体の発展に10年以上にわたり貢献し、特に顕著な功績が認められた人を表彰するものです。黒田さんは長年、身体障がい者相談員として相談業務の強化に尽力。同協議会協力店の普及活動や、障がいのある人が地域で共に生きるための意識啓発・人権教育の講演活動に取り組んでいます。



受賞の報告のため福村市長（右）を表敬訪問した黒田さん（左）

12/21 大きいね!
迫水小学校に巨大門松

迫水小学校（松本拓也校長）に巨大門松が設置されました。同校の富永康寛教諭がPTA環境美化部と一緒に製作したもので、高さは3.6mを誇ります。富永先生は、「行き交う人々が立ち止まって写真を撮ってくれます。本校は閉校となりますが、多くの人に学校があったことを知ってもらえる良い機会になれば」と思いを語りました。



1. 門松を製作した迫水小 PTA 環境美化部の皆さん 2. 巨大門松の前に笑顔を見せる同校6年生

12/17 わたしにもできる!
救命・応急手当

菊池広域連合消防本部が行う救命入門コースの授業が、菊之池小学校で行われ、6年生35人が応急手当の方法を学びました。この授業は、法律の改正に伴い救命入門コースの対象年齢が引き下げられたことを受け、菊池広域消防本部管内で初めて実施されたものです。児童は人工呼吸の方法やAEDの使い方、止血の方法などを学習。指導した消防署職員は、「今後管内の小中学校へこの授業を広げていきたい」と語りました。



消防署職員の応急手当の実演指導を真剣に聞き入る児童たち

12/15 菊之池小学校に
校旗が寄贈されました

大琳寺区の池田正男・ヨシ子夫妻から、菊之池小学校（松岡秀明校長）へ校旗が寄贈されました。同校の卒業生である池田さんは、学校の行事で校旗を見かけ古くなっていることに気が付き、お世話になった小学校への恩返し思いを込めて寄贈。デザインは校色のオレンジを基調にしました。「学校の旗を寄贈できてうれしいかぎりです」と池田さん。松岡校長は、「校旗は学校の顔でもあります。大切に使用させていただきます」と感謝を述べました。



松岡校長（右）に校旗を寄贈する池田さん（左）

12/19 末廣勝也さんと山代正治さんが熊本県功労者表彰

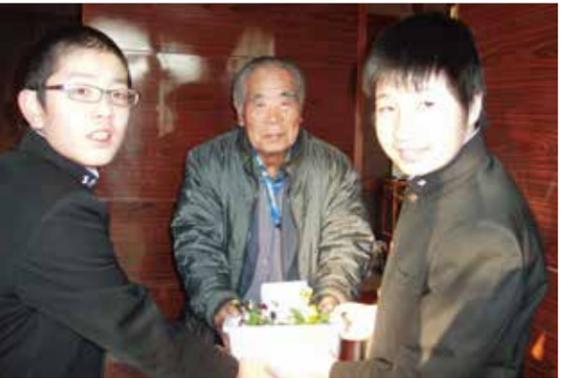
木・竹炭製造販売業の末廣勝也さんと林業・農業従事者の山代正治さんが、熊本県農林水産業（林業・林産業部門）功労者表彰を受賞しました。末廣さんは、竹酢液採取装置の開発と新案特許の取得のほか、炭窯の焚口などで新たな技術開発を行うなど優れた功績が認められました。山代さんは、熊本県認定の「指導林家」として高校・大学生への林業就業体験やボランティアによる森林づくり活動に努め、林業後継者育成などに大いに貢献しました。



蒲島熊本県知事（中）から表彰を受けた末廣さん（左）と山代さん（右）。受賞おめでとうございます。

12/19 旭志中学校生が
一人暮らしの人へ花を配布

旭志中学校の生徒が、地元の70歳以上で一人暮らしの高齢者81人に花を届けました。配布した花は、平成24年8月から育てたピオラ。生徒たちは公民館活動推進員の指導の下、高齢者の皆さんに花を手渡しました。花を受け取った一人暮らしの高齢者の皆さんは、「ありがとうございます。大事に育てます」と笑顔を見せていました。



一人暮らしの高齢者に花を手渡す旭志中学校の生徒たち



口座振替の申し込み手続き

口座振替の申し込みには、基礎年金番号の記入が必要です。年金手帳や納付書で基礎年金番号をご確認ください。また、金融機関届出印の押印が必要となります。申込用紙は、金融機関、年金事務所の窓口にて備え付けています。

※金融機関届出印の相違や、口座氏名などの相違により登録が遅れた場合は、1年前納に間に合わない場合があります。届出印と口座氏名を確認してください。

毎月第2火曜日は年金出張相談日です【予約制】

とき 毎月第2火曜日
午前10時～午後3時

ところ 菊池中央公民館2階会議室

事前に市民課または各総合支所民生課で予約が必要です。厚生年金に関する手続き、年金記録確認・質問・相談などありましたら、気軽にご利用ください。

2月上旬に送付される場合

平成24年10月2日～12月31日までの間に初めて保険料を納付する人については、2月上旬に同様の証明書が送付されます。

平成24年11月上旬に送付の場合

証明内容は、平成24年1月～10月1日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

電話で再交付ができます！

国民年金保険料を支払っている人が社会保険料控除証明書をなくした場合

- ・控除証明書専用ダイヤル ☎0570(070)117
- ・熊本西年金事務所 ☎096(355)3261

国民年金・厚生年金受給者が源泉徴収票をなくした場合

- ・年金相談ダイヤル ☎0570(071)165
- ・熊本西年金事務所 ☎096(353)0142

※電話する場合は、手元に基礎年金番号が分かるものを用意してから本人が直接電話をしてください。

※基礎年金番号が分からない場合は、直接熊本西年金事務所に取りに行ってください。

口座振替での前納の申し込みはお早めに

口座振替前納の申し込みは、預貯金口座をお持ちの金融機関（ゆうちょ銀行を含む）の窓口、または、年金事務所（郵送も可）で受け付けています。

口座振替の締切日

口座振替での平成25年度分1年前納（4月～9月分の6カ月前納も含む）の締切日は、2月末日です。

※すでに口座振替で前納している人は、再度申し込み必要はありません。

口座振替日

前納の口座振替日は4月30日（火）です。

※残高不足で口座からの引き落としができなかった場合は、割引がなくなりしますのでご注意ください（毎月の口座振替に切り替わります）。特に、初めて口座振替で1年度分の前納を申し込んだ人は、1年前納の保険料額に加えて、3月分の保険料（1万4980円）が同時に引き落としとなりますので、残高不足にご注意ください。

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料は社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税の社会保険料控除の対象となります。国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、毎年1月1日から12月31日までの間に納付（納付見込みを含む）した国民年金保険料の額を証明する書類の添付が必要となります。このため、生命保険会社などが発行する控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書（はがき）」が、日本年金機構から毎年11月上旬と2月上旬に送付されます。

平成24年11月上旬に送付の場合

証明内容は、平成24年1月～10月1日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

2月上旬に送付される場合

平成24年10月2日～12月31日までの間に初めて保険料を納付する人については、2月上旬に同様の証明書が送付されます。

1/7 第22回 子ども囲碁・将棋大会

旭志公民館で開催され、市内の小・中学生31人が参加しました。成績は次のとおりです。（敬称略）

将棋（Aパート）優勝 石口閃理（泗水小2年）
準優勝 城壮一郎（隈府小4年）**3位** 堀川朝陽（泗水小6年）**将棋（Bパート）優勝** 西濱正悟（泗水小6年）**準優勝** 仲光菜々子（菊之池小5年）**3位** 松岡 怜（菊之池小2年）**囲碁の部 優勝** 芥川柊真（七城中1年）**準優勝** 南家 航（泗水中3年）**3位** 石口優理（泗水小5年）



真剣に将棋を指す子どもたち

1/10 佐々龍一さんへ 法務大臣感謝状贈呈

昨年末の任期満了をもって人権擁護委員を退職した佐々龍一さんに、法務大臣から感謝状が贈呈され、市役所で伝達式が行われました。佐々さんは、長年にわたり人権侵害による相談活動や、小・中学校、社会福祉施設などにおける人権啓発活動に尽力。地域の人権尊重思想の普及高揚に貢献しました。

退職にあたり、「3期9年を務めて大変な仕事だと痛感した。今後は一市民として差別のない明るいまちづくりのために頑張りたい」と話しました。



左から、感謝状を伝達した熊本地方務局山鹿支局の古川英敏支局長、佐々さん、福村市長

1/2 龍門小学校の卒業生が 閉校記念授業を開催

龍門小学校で、同校平成4年度卒業生23人が集まり閉校記念授業を行いました。教壇には恩師の境恵子先生が立ち、4年生当時に行っていた授業を再現。世話人代表の池辺徹さんと栗原幸子さんは、「準備は大変でしたが、同級生がたくさん集まって童心に振り返ることができた」と笑顔を見せました。

授業の最後には、20年前に竜門ダムの完成に合わせて埋めたタイムカプセルを開け、当時書いた作文を発表するなど思い出話に花を咲かせました。



龍門小学校の教室で、4年生当時の国語の授業を受ける卒業生と教鞭を執る境先生

1/9 中日ドラゴンズ 荒木雅博選手講演会

中日ドラゴンズの荒木雅博選手の講演会が泗水ホールで開催され、泗水中学校の生徒約430人が参加しました。荒木選手は「夢を実現するためには、実現可能な目標を設定し一つ一つクリアしていくことが大切」と地道に努力することの大切さを熱弁。生徒からの質問コーナーで「一番気をつけていることは何ですか」との質問に対し「フライデー」と答えるなど、時折ユーモアを交えながら会場の笑いを誘いました。今後の荒木選手の活躍を願います。



講話する中日ドラゴンズの荒木選手